

■ 7/25 第4回まちづくり検討委員会 意見と対応(案)

資料名・箇所	7/25資料 ページ	10/18資料 ページ	項目	全体構想・分野別構想・地域別構想への意見	対応(案)
◆都市計画マスタープラン 全体構想					
1 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 2. にぎわいと活力のある市街地整備の方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	13 24	133	公共公益施設の整備方針	谷和原中・小絹中統廃合が検討されている。万一、小絹中がなくなれば、小絹地区に住む人はいるのだろうか？居住を誘導しているが、学校再編を行っている中で整合性がとれていないのではないか？また、多くのみらい平住民は、みらい平の都市計画は破綻していると認識している。子ども達の学校収容が上手く出来ていない、理由は人口の増加のコントロールを都市計画で行っていないためだ。	・小絹地区の居住誘導地域と学校再編については、もし再編に至った場合、立地適正化計画に基づき、都市機能や生活利便施設の誘導を図り、新たなライフスタイルや多様な地域ニーズを取り入れた地域づくりに取組みできるように、まちの魅力維持を地域全体で対応できるように、必要な対策を講じる。 また、学校再編と居住誘導の先進市である(富山県富山市、京都府宇治市、千葉県千代田市など)の事例を参考とし、担当課と情報共有を行う。
2 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	24	133	公共公益施設の整備方針	小中学校は地域の拠点になる。都市計画マスタープラン(以下、都市マス)で統廃合の議論をする必要はないが、統廃合の結果を踏まえて、今後の学校の活用を記載するのは都市マスの役目である。	なお、県内市町村の都市計画マスタープランでは、教育施設の将来的な利活用、廃校後の具体的なまちづくりの記載はない。他市においては、地域周辺住民の意見を聞きながら、利活用を検討する旨の記載が書かれている。市として、現段階で廃校後の利活用については未定である。そのため、再配置の可能性は高いが、統廃合による弊害も含めて実現化の方策の中で記載を行う。
3 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	24	133	公共公益施設の整備方針	小中学校の用地の判断は、都市マスで配慮してほしい。	・公共公益施設の有効活用などについては、現在記載のとおり検討を行う。
4 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	24	133	公共公益施設の整備方針	文化施設や社会教育施設等、単一機能ではない複合施設が今後主流になってくる。これからは縦割りでなくなっていくことを意識したほうがよい。	◆資料への対応 上記のことから、下記のように資料修正を行います。 【旧】地域の実情を踏まえた、地域の活性化等に寄与する施設として、配置の適正化に伴い発生する跡地や建物の有効利用を検討します。 【新】地域の実情を踏まえた、地域の活性化や地域の方々からチャレンジを行える場等に寄与する施設として、配置の適正化に伴い発生する建物の有効利用や跡地活用を検討します。
5 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 2. にぎわいと活力のある市街地整備の方針	13	122	みらい平駅周辺市街地及び伊奈東市街地に関する整備方針	みらい平地区の市街地の拡大を段階的に拡大してほしい。既存の集落の発展をどうしていくのか？緑・自然を守るだけでいいのか？線引きを見直して住宅を誘致してほしい。	・市街地の拡大については、人口の受け皿や産業の誘致のために必要であると考えており、改定都市マスにおいて明確に位置付ける。委員からの指摘をふまえ、段階的・計画的という文言を追加する。 ・立地適正化計画においては、災害危険があるところは積極的に居住を誘導しないこととする。ただし、既存の生活がある場所については生活利便施設や日常暮しの維持を図っていく。
6 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 2. にぎわいと活力のある市街地整備の方針	12	121	自然的土地利用の方針	線引きをどうするか議論するだけの材料、エッセンスが書いていない。	・コンパクトプラスネットワークとあわせて、市街化調整区域の既存集落については、Uターンやタウン、の活用した維持活性化を図る。
7 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 2. にぎわいと活力のある市街地整備の方針	12	121	自然的土地利用の方針	・以前、事務局からコンパクトシティ、高台移転にしたいと事務局から説明があった。 ・既存集落がなくなれば、管理する人がいない等の問題が生じるのではないのか？ ・人が住まなくなった地域で土砂災害が起きた事例がある。誰が災害復旧するのか？人が住まなくなる地域の維持、具体的な考え方針のもと、まちづくりを取り組むべきである。	
8 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 2. にぎわいと活力のある市街地整備の方針	12	121	自然的土地利用の方針	危険があるところに居住を誘導することは難しい。バランスを考えてほしい。	◆資料への対応 上記のことから、記載変更は行わない。
9 Ⅰ 都市づくりの理念と目標 3. 都市づくりのフレームワーク	4	121	自然的土地利用の方針	人口だけで都市構造は決まっていけない。住宅政策、住宅ニーズは世帯数で決まってくる。30年間で東京の人口は17%、世帯数は47%増えている。今後も社会現象の世帯細分化が進んでいく。1世帯あたりの人数は30年間で2.46→1.96人になった。人口が減っているからといって、住宅ニーズが減っているわけではない。	
10 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	18	127	公共交通体系に関する整備方針	美容室の高齢者客層に対して、送迎を行っている。タクシーやコミバスでは、来店が難しい人たちも居る。公共交通を含めたまちづくりの充実をお願いしたい。	・コミュニティレベルの公共交通について、積極的に見直しを行っていくことにより、市民が利用しやすい交通ネットワークの構築を図るという内容を追加する。
11 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	18	127	公共交通体系に関する整備方針	公共交通はAIの導入によって、さらに進化していく。	◆資料への対応 上記のことから、下記のように資料修正を行います。 【旧】路線バス・コミュニティバス及びデマンド乗合タクシーがより利用しやすい環境となるように、各種サービスの改善・導入や情報提供の充実などを図ります。 【新】最新の技術や法制度の改正を契機として、コミュニティレベルの公共交通について、積極的に見直しを行っていくことにより、市民が利用しやすい交通ネットワークとなるように、路線バス・コミュニティバス及びデマンド乗合タクシー等の各種サービスの改善・導入や情報提供の充実などを図ります。
12 Ⅲ 分野別都市づくりの方針 4. 安心して安全、やさしさのある都市環境の形成方針	27	136 137	安心して安全な都市環境の形成に向けた整備方針	・地域防災計画を踏まえた水害の内容を書くべき。小中学校は防災拠点と成り得るので、学校統廃合を含めて議論を深めるべきである。 ・狭小住宅地における不燃化など、地域防災計画から、切実な課題を参考にすべきである。	・災害対策については、地域別構想の中でより危険な箇所を明記したうえでまちづくりの方針をわかりやすく示す。統廃合後の小学校を避難所に指定している件について、今後、災害対策に必要な議論は、市全体の避難計画に関係することから、担当課で調整を図っていく。 (16)安心して安全な都市環境の形成に向けた整備方針、ア市街地防災の文中に不燃化に関する旨を記載しております。
13 Ⅲ 分野別都市づくりの方針	32	141	全体構想図	・全体構想図は、土地利用や道路など分野別に分けて示したほうがよいのではないか。 ・構想なのか、現状を示したもののかがわかりづらい。	◆資料への対応 上記のことから、以下の対応を行う。 ・全体構造図・全体方針図・地域別方針図の3段階構成とする。 ・全体構想図の名称変更 【旧】全体構想図⇒【新】全体方針図 ・地域別方針図の方針明示

資料名・箇所	7/25資料 ページ	10/18資料 ページ	項目	全体構想・分野別構想・地域別構想への意見	対応(案)	
◆都市計画マスタープラン 地域別構想						
14	—	142	地域区分の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想の地区ゾーンの分け方の説明が記載されていない。 地域別構想の区分けが南北に大きいのでは？全体的な拠点や学区単位の地域別構想が望ましいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想の3地域区分については、これまでの前都市計画マスタープランの地域区分を継承する。理由については、3地域の資料の前に、地域区分の考え方の資料を追加する。 地域の中で、北部・中部・南部等のエリア別で記載することを検討する。 ◆資料への対応 地域区分の考え方を示したものを第4回まちづくり戦略本部の会議で提示済み。 	
15	—	—	地域の都市づくり方針の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> 個別政策の具体的な実現を図る記載や今後の方針策が薄い。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別方針の中で、具体的な地区や内容が記載できる方針については、明記する。 ◆資料への対応 既に明記できるものについては、記載済みであるため、変更しない。 	
16	丘陵地域	21	214	丘陵部や水辺等の美しい自然環境の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 丘陵部の太陽光施設が増えて木が伐採されている。景観はどう考えているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想においても、貴重な自然の保全を明記する。そのうえで、民有地におけるソーラーパネルの設置について、具体的な対策案が示せるか要検討。 ◆資料への対応 緑地の保全の方針について修正したものを第4回まちづくり戦略本部の会議で提示済み。
◆都市計画マスタープラン その他						
17	—	第1章 第2章	区域マスとの整合及び現状の示し方について)	<ul style="list-style-type: none"> 上位計画の内容を記載し、つくばみらい市の方針を書いてほしい。どのように運用していくか？線引きの方針は？具体的な内容を記載すべきである。 上位計画である区域マスでは、土地利用、都市施設、市街化調整区域の現状、都市施設事業整備状況と記載がある。今後、手段として、どうしていくか、各種整備状況を把握すべきである。また、区画整理は今後検討されているのか？まちひととごとの結果についても言及を含めて、人口密度のコントロールも書くべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 上位計画との整合、都市施設整備状況については、改定マスタープランの前段で整理を行う。 ◆資料への対応 区域マスとの整合は、前提条件として前段で明記。 現状の整備状況と今後の整備計画について全体構想図で明記。 市街地整備等の状況は、現況編(参考資料)で想定している。 人口密度のあるべき考え方は、立地適正化計画の中で示すことを想定している。 	
18	—	—	会議運営について	<ul style="list-style-type: none"> 資料ボリュームがあり、文字ばかりである。会議時間が長く、会議進行が非効率である。計画を読む人、これから市に移住する人に対して、未来ワクワク感が感じられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方に親しみをもってもらえるよう、写真等を用いてわかりやすい表現とする。現資料は、会議資料のため、カラーが少なく単一的だが、最終的に写真や挿絵を挿入する等、カラーバランスを考え見やすい計画書とする。 また、本編とは別に概要版、簡易版等を作成する予定です。 ◆資料への対応 写真等を用いた資料は、パブリックコメント用資料で記載を予定しております。 	
19	—	128	公園等における複数機能の導入について	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地について、これまでの法律は規制が中心であったが、これからはイベント等の交流の場としての活用がメインとなってくる。農地についても都市公園法の重複指定など制度が大きく変わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地の多様な使い方について、参考となる事例の整理する。 近年、都市公園の幅広い利活用事例があるなか、将来的な公園の維持・更新等を本計画の中でも方針を示したいと考えている。 ◆資料への対応 将来的な公園の維持・更新等の考え方を示したものを第4回まちづくり戦略本部の会議で提示済み。 	

資料名・箇所	7/25資料 ページ	10/18資料 ページ	項目	全体構想・分野別構想・地域別構想への意見	対応(案)
◆都市計画マスタープラン 全体構想					
1 I 都市づくりの理念と目標 都市構造図 III 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	8 19	117	公園・緑地の整備方針	・p.19「拠点性の高い公園・緑地」に「総合運動公園」「城山運動公園」の説明がある。城山運動公園は野球場しかないが、p.8「都市構造図」では、この2つの公園が同じ大きさで表記されている。	・担当課と調整の結果、総合計画と表現を統一とする。 ◆資料への対応 上記のことから、修正は行わない。
2 III 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	16	117	道路・公共交通ネットワークの整備方針	・p.16「①広域幹線道路」では「都市軸道路」という言葉を提案して入れさせていただいたのですが、図面等では「都市計画道路守谷・伊奈・谷和原線」となっている。この都市軸道路という言葉が正しいのか。また、地域幹線道路の中にこの都市軸道路である守谷・伊奈・谷和原線また東櫛戸・台線が入っており、この辺をどう整理するのか。	・住民に馴染みのある道路名称とするか、都市計画道路の名称とするかは、担当課と調整を行う。 ◆資料への対応 守谷・伊奈・谷和原線(都市軸道路)に修正
3 III 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	16	117	道路・公共交通ネットワークの整備方針	・都市軸道路というのどこを言っているのか？ ・その都市軸道路の部分の広域幹線道路としてのネットワークはどこを指しているのかというは、はっきり明確にすべきだと思う。	
4 III 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	19	128 129	公園・緑地の整備	・公園の維持管理の項目がP19とP20に記載されている。	・資料1のP19とP20に記載されている公園の維持管理の項目については、P20に記載してある古い内容を削除する。 ◆資料への対応 P129の公園維持管理の内容を削除
5 I 都市づくりの理念と目標 都市構造図	8	117	都市構造図	・都市計画道路の守谷・伊奈・谷和原線が、これは都市間交流軸なのかそれとも広域連携軸なのか。 ・将来的に、理念だからということもあるかなと思うが、利根川に橋が架かると一気に交流域が上がって、広域連携軸になるのではないかと。 ・都市市街地交流軸でみらい平と小絹駅を結んでいるが、線が太すぎるので表現を変えたほうがいい。(実際には2車線なのに4車線のイメージに見える)。	・将来的な連携軸の活用を踏まえて、図の表現の見直しを行う。 ◆資料への対応 都市市街地交流軸の表現を実態と齟齬がないように表現の変更 都市計画道路の守谷・伊奈・谷和原線は将来的には広域連携軸位置づけに変更。
6 III 分野別都市づくりの方針 全体構想図	32	141	全体構想図	・全体構想図があまりにも現況図に近い	・概念的な表現にしてしまうと既存集落が明示できなくなるため、現状の表現のままとする。 ◆資料への対応 上記のことから、図の変更は行わない。
7 III 分野別都市づくりの方針 3. 都市の発展を支える都市施設の方針	24	133	公共公益施設の整備方針	・各地区小学校で学校がなくなることに對して説明会をする際、「学校をなくして、今後どういう街にするのか」と問われた時に、一般の人が端的にイメージできるような表現の仕方、取りまとめをお願いしたい。	・今後どういう街にするかというあるべき姿の提示を都市マス地域別構想で行うことは難しい。 ◆資料への対応 上記のことから、文書の見直しは行わない。

資料名・箇所	7/25資料 ページ	10/18資料 ページ	項目	全体構想・分野別構想・地域別構想への意見	対応(案)
資料名・箇所	ページ		項目	全体構想・分野別構想・地域別構想への意見	対応(案)
◆都市計画マスタープラン 地域別構想					
8	—	187 211	連携軸の構築	<p>・資料2-2 p.20の地域相互の連携を高める地域交流連携軸の考え方について。みらい平駅周辺市街地と谷井田市街地及び伊奈庁舎、谷和原庁舎、構想されているスマートインターチェンジ等を連絡する地域交流連携軸の形成を図るため、道路を推進すると言っているが、全部を結ぶ道路という意味か、それとも、それらを結んでいく軸ということか。例えば、みらい平や谷井田などは、面を結んでいくのであれば地域交流軸である。それに対し、スマートインターチェンジという考え方でこれを地域連携軸と見るのか、それともスマートインターチェンジは点だが、長い広域幹線道路としての常磐道を結ぶのだから、この考え方からすると地域交流軸ではないと思うのだが。どのような考え方でこのp.20の「広域連携軸の形成を図るため」という言葉が出ているのか。</p> <p>・ここは面と面を結ぶ軸形成を図るのか、庁舎も点だが、庁舎を面と結ぶ考えなのか。そこに今度スマートインターチェンジという広域幹線道路として広域道路と結ぶのは、結ぶための点ではない。ここが地域交流連携軸になるというのは、少し性質が違うのではないか。2-3でも同じような言い方があり、その軸の考え方を後程説明して欲しい。</p>	<p>・地域の拠点や地域の主要施設を連携することで、地域相互の連携を高めることとし、記載を修正する。</p> <p>◆資料への対応 資料2-2 ○みらい平駅周辺の都市交流拠点市街地と谷井田の地域生活拠点市街地と及び伊奈庁舎、谷和原庁舎、構想されている常磐自動車道スマートインターチェンジ等を連絡する地域交流連携軸の形成を図るため、(都)東楢戸・台線、(都)小張・南太田線、(都)高岡・谷井田線の整備を推進します。</p> <p>資料2-3 ○(主)つくば野田線は、みらい平駅周辺の都市交流拠点市街地と小絹駅周辺の地域交流拠点市街地を連絡する市内の主要な幹線道路として位置づけ、両地域の人々の交流や谷和原市庁舎へのアクセス等を促すとともに、公共交通の軸としての役割を果たす市街地交流連携軸として整備を推進します。</p>
9	2	144	現況(人口・世帯数の動向)	<p>・小絹地区の考え方だが、国勢調査17年と27年の結果から、人口が増加していると思うが、現実今どうなっているか把握しているか。</p> <p>・平成27年7月1日と今現在の7月1日を比べると、376人減り、平成27年から毎年減少傾向にある。2、3年前から分かっていたが、毎月「地区別人口」が公表されており、それを見れば増加しているという判断にはならないと思う。人口のとらえ方を間違えていると、方針付けが変わってくる</p>	<p>・小絹地域の人口増減(将来推計含む)については、現在の国勢調査データベースとして、注釈をつけ加える。</p> <p>◆資料への対応 各地域注釈の追加する。</p>
資料名・箇所	ページ	10/18資料 ページ	項目	全体構想・分野別構想・地域別構想への意見	対応(案)
◆都市計画マスタープラン その他					
10	—	152-158 177-183 200-206	市民アンケート	<p>・総合計画ではCS分析までやっているが、その整合性は取れCS分析は活かされているのか。特に、小絹についての未定の方向が、本当にみらい平という方向性を、総合計画においてCS分析表を見ると詳細に出していないが、よく見ていただきたい。</p>	<p>・総合計画のアンケートのCS分析結果に齟齬がなかったため、現状通りとする。</p> <p>◆資料への対応 記載内容の変更は行わない</p>

項目	10/18資料 ページ	ご意見	意見対応(案)
◆板橋コミュニティセンター			
1 公共交通網について	127	<ul style="list-style-type: none"> 生活する立場としては、公共交通をどうにかしてほしい。コミュニティバスは便数が少なすぎて、デマンドタクシーは市内限定の利用のため使いづらい。また、市長の公約の病院バスは具体的にどうなるのか。 現在は、月に1回使うかわらないか程度の利用頻度。 公共交通は値段が安くて利便性が高くないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスについては、路線の見直し、便数の見直しを行っており、改定後の路線については、現在公開されています。便数については、現在調整中であるため、決まり次第情報を公開いたします。
		<ul style="list-style-type: none"> 新しいコミュニティバスのダイヤがわかっていない。早く情報を示してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) 交通やイベント交流等周辺市との広域連携を強化を図ります。
2 市街化拡大検討について	—	<ul style="list-style-type: none"> みらい平地区と伊奈東地区の人口拡大地域の構想について、現実的ではないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該の地区は、農業振興地域でありすぐに市街化区域への編入は難しいが、都市計画マスタープランは20年の計画であり、今後、拡大する人口の受け皿として、検討を行っていきたい地区となります。
3 公園の整備について	128 129	<ul style="list-style-type: none"> 緑豊かな地域、市民が共有できる森林公園の構想があったらいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) 公園整備については、地域の需要に応じた公園再整備を検討をしていきます。
		<ul style="list-style-type: none"> 公園が板橋地区にもあるとよい。砂遊びなどできるとよい。 自然があって噴水があって子供の遊び場があると良い。年寄り守谷のイオンモールで散歩している人が多い。きらくやまのようなところがもう1箇所あるといい。 	
4 将来人口の推計について	—	<ul style="list-style-type: none"> 人口の構想が変わるのは違和感を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 人口ビジョンの見直し版が完成次第情報公開をいたします。
5 空家・空き地について	133	<ul style="list-style-type: none"> 空き家あるけど管理されていない。市としてどう対応をするのか。民間の土地には基本ノータッチときいている。 自治会としては、木が生い茂った宅地については、強制的に切っ払いという話になっている。空き家の地主にきいたら切るのはOKもらっている。 空き店舗は、近くにはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) 空家・空き地については、人口増加や交流人口増加を目指し、有効活用できる仕組み等を検討をしていきます。
6 生活利便施設について	122	<ul style="list-style-type: none"> 買い物はみらい平、守谷に行く。みらい平は充足できない。医療品がない。娯楽、楽しむ所がない。伊奈東の小売店がない。市街地らしい街がよい。伊奈東に公共施設がない。 人口減で集約する子供たちは車で移動ができないから児童館などが地域に必要。 地元がコミセンをよく使っている。なかなか予約できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) みらい平地区の昼間人口増加に資する機能を検討をしていきます。 伊奈東までアクセスしやすいコミュニティ交通の強化を図っていきます。
7 公共公益施設の統廃合について	133	<ul style="list-style-type: none"> 統廃合の跡地を市民の楽しめる場にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) 地域の需要に応じた跡地利用の検討をしていきます。
8 市民との協働について	—	<ul style="list-style-type: none"> 自治会と行政と一緒にやっていることはない。イベントのリーダーの担い手がいない。若い人がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新設された市民推進課を中心に、市と市民が一緒の目標に向かって協働で活動するための場や機会を今後作っていきます。

項目	10/18資料 ページ	ご意見	意見対応(案)
◆みらい平コミュニティセンター			
7 説明会の実施について	—	・7時スタートは夕飯時間で悪い。東京に勤めていると8時のほうがいい。 ・核家族が多い、みらい平地区はこの時間は集まりにくい。	・開催日時については、ヒアリングを行いながら日程設定行っています。
8 全体構想について	—	・都市づくりの方針は気持ちはわかるが、具体的ところがよく見えない。 ・「自然」や「幸せ」ということはわかるが、市がすたれてほしくないで戦略的なものがないといけないと思う。 ・この10年間で進んだ事業とか結果がでたものを教えていただきたい。 ・マスタープランに基づいてどのように市政は動いているのか。 ・教科書みたいな言葉が書かれているが、具体的なものを書いていいのでは思う。 ・つくばみらい市としてやろうとしていることと、市民が思っていることの整合をとる必要があるのではないか。	・素案が出来ましたら、現行計画から改定のポイントについてわかりやすく説明するよう努めます。
		・もっと具体的案プランを聞きたかった。郵便局の見通しとか、中学校がいつ建つのかというのが聞けると思った。 ・今理念が書かれているのは、どこの市にでも通用する言葉な気がする。中身があまりない。	
		・具体的に動くことは決まっていなくていいか。 ・具体的なものが出ていないといいか悪いか判断できない。	
		・マスタープランについては、方向付けである。今までのマスタープランの何が問題で何が不便なのかといことを聞きたい。それを踏まえてどういう風に改善させるか。 ・生活しているレベルの問題の分析を反映していないといけない。	
		・平成22年の改定版というのを打ち出していいのでは。改定版と言われないと新規で新しい計画を作ろうとしているように聞こえてしまう。	
9 公園整備について	128	・公園のトイレについて、石の公園に遊びにいくが公園にトイレがあるとよい。 ・江戸川区から引っ越してきたが、江戸川区はトイレに力を入れている。お菓子の家のようなトイレとか工夫している。	◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) 公園のトイレについては、地域の需要に応じた公園再整備を検討をしていきます。
10 市街化区域の拡大検討について	—	・中間見直しで、拡大検討の位置がいきなりできた印象。構想道路について、具体的にできるのか。	当該の地区は、農業振興地域でありすぐに市街化区域への編入は難しいが、都市計画マスタープランは20年の計画であり、今後、拡大する人口の受け皿として、検討を行っていきたい地区となります。構想道路についても引き続き整備を位置づけていくと考えています。
11 空家・空き地について	133	・空き家問題、介護問題、はっきりした問題に対してどうするか。	◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・空家・空き地については、人口増加や交流人口増加を目指し、有効活用できる仕組み等 を検討をしていきます。
12 公共交通網について	118	・人ばかり集まって、住みにくい状況が起きている。 ・地域をつなぐバスが走っていない。 ・駅に流れる交通機関がない。	・コミュニティバスについては、路線の見直し、便数の見直しを行っており、改定後の路線については、現在公開されています。便数については、現在調整中であるため、決まり次第情報を公開いたします。 ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・交通やイベント交流等周辺市との広域連携を強化を図ります。
13 つくばみらい市の賑わい創出について	121	・子ども会をやっていて、地域同士のかかわりがあるとよいと思うが、人脈もないし、地元のいいところ自然体験等、イベントなど係わり合いをもてるものがあるとよい。公共の乗り物があるとよい。市のいいところとか学べるとかあるといいなと思う。	◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・自然を活かした市内外に誇れるふれあいの場づくりを今後検討をしていきます。
14 交通安全について	—	・人口が増えたので、公共施設にいくための道路には信号があってほしい。学校の近くにはあってほしい。	・公共施設等の周辺においては、信号の設置など交通安全対策を検討します。
15 つくばみらい市の自然について	121	・つくばみらい市は自然があってもいいところ。自然っていても触れ合えるところがほしい。うっそうとしているのが自然ではない。子供たちが自然に触れ合える場所がほしい。	◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・自然を活かした市内外にほこれるふれあいの場づくりを今後検討をしていきます。
16 その他	—	・絹の台に住んでいるが、自分の家の周辺に準工業地域であり、常習的に大型車が入ってきている。 住戸公団は、住宅街を通るような工業地の設定はありえない。高速沿いに準工業地域の件ついて、解答がまだきていない。職員の方も勉強していただいていた。	担当課と調整を行い、対策を今後検討をしていきます。
17 その他		・みらい平駅の常陽銀行から出たときの信号があって、階段があってそこを渡れば駅にいけるかと思っただけに行けない。	
18 その他		・駅の見直しとか段差の見直しとかそのような内容が入らないといけない。 ・プランの検証をしっかりとすべきだ。	

項目	10/18資料 ページ	ご意見	意見対応(案)
◆谷井田コミュニティセンター			
19 交通利便性について	127	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは車の運転ができています。交通の便が谷井田地区は悪い。車が運転できなくなったら、この地域を離れていかなきゃいけないのかと思う。 ・デマンドタクシーは病院にいくれない。デマンドタクシーは市外がだめ。 ・日常の買い物と病院がいく交通網の整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスについては、路線の見直し、便数の見直しを行っており、改定後の路線については、現在公開されています。便数については、現在調整中であるため、決まり次第情報を公開いたします。 ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・交通やイベント交流等周辺市との広域連携を強化を図ります。
20 つくばみらい市の自然や農業について	121	<ul style="list-style-type: none"> ・田園風景に感動している。この緑の風景を残してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・田園景観の魅力発信を念頭に、農地等の保全を図ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・周りの農家の方は高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・農地のあり方を検討します。 ・自然を活かした市内外に誇れるふれあいの場づくりを今後検討していきます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・時々集約農業をやりたいという人もいる。 ・既存のあるものを有効に使うことが大事だと思う。 ・農業辞めてぶどうを作っているところがある。守谷とかいろんなところの友達がきてくれる。みんな買いにくる。市民だけではできない。 	
21 つくばみらい市の賑わい創出について	129	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングや買い物は守谷かつくばに行ってしまう。つくばみらい市の中で買い物したとかランチ行ったという話がない。守谷が拠点みたいになっている。つくばみらいは寝る場所になっている。ペッタウン。デイトウンにしてほしい。お昼もにぎやかなまちづくりが理想。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・きらくやまふれあいの丘やワープステーション江戸等の市内の多様な魅力スポットの機能強化と連携強化を図っていきます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・きらくやまとワープステーション江戸がいいと思うのに人がいない。もったいない。 ・今ある箱物を充実させてほしい。例えば、きらくやまにイタリアンやフレンチなどお食事できるような雰囲気の良いお店をいれるといいのでは。今はパンとジュースしかない。ワープステーションも同じ。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・みらい平は発展しているが、みらい平には行く用事がない。 ・つくばみらい市は他から来ることがない都市。ということは、何もなしアピールがない。 	
22 市の特徴を出すために	133	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域に、英語しゃべれなくても泊めさせてあげるとか。民泊とかやっていいのでは、なんにもないここを海外の人はすごい楽しむ。わざわざ東京から来てくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・公共施設の再編に伴い生じた校舎や跡地等は、地域の方々の交流の場としての活用なども念頭にあり方検討を行います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・未だに英語の能力が日本人は低い。大学出た人がすごいかというそうでもない。こんだけお金かけて英語教育をやっているにもかかわらず、英語ができてないということは政策として失敗している。もっと力を入れてほしい。守谷では国際交流のイベントが活発的。 ・言語は週に1回や2回ではだめ。廃校になった校舎をうまく利用して、英語教育のための施設にしてはどうか。ちっこくてもいいけど、そういう英語が基本の授業をする学校してみても。国語の時間は国語の時間で重要。6年間の成果をみたら絶対違うと思う。パブリックでやるのが大事。成果があがれば他市からつくばみらい市に来たい人がでてアピールできると思う。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・アピールすることに市民の方が興味をもっていない。そういう雰囲気の町。市はもっとアピールしたい。カスミがこの地区になくなったアウト。あるものをなんとか工夫してもっと素敵にできるのかなっておもう。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・人任せではなく、自分たちでもっと考えるべき。将来どうするのか。ちょっとでも協力してブランド品にするとか。農家は農家、商業は商業でなくてみんなで協力して。境のモールは田舎なのにでっかいのがあった。カスミがいっぱいあってもだめ。中途半端な状態。東京オリンピックを機にもっとつくばみらいをアピールしていけばいいのでは。間宮林蔵の記念館とか、利用したり。外国の人は近代的なものは喜ばない。田舎っぽいほうが喜ばれる。 	
23 市と意見交換を行う場について	—	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でもっと会合を開けるような。誰かがリーダーシップをとらないといけない。 ・市でそこはやっていただけないといけないかなと思う。 ・市長が変わってからこういう会合が増えた気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新設された市民推進課を中心に、市と市民が一緒の目標に向かって協働で活動するための場や機会を今後作っていきます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・みんな幸せすぎて、幸せボケしている気がする。みんなで共同でなにかひとつのことを成し遂げようというようなことがない。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・大規模なものをつくらなくても、ネットワークを作るとか。 ・アイデアをもっと出し合えればいいのに。みなさんこういう会合にでて意見をいえばいいのに。 ・自治会の会合は年に1回か2回あるけどぜんぜん集まらない。農家関係の方が多かったので農家の話ばっかしている。 	
24 空家・空き地について	133	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家空き地は、この地域でもある。そういうのも何かに活用できないかと思っている。谷井田地域全体だと人任せになるので、もっと小さいコミュニティを作ったほうがいいのでは。もっとみんなで考えましょう！という雰囲気をつくらばいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・空家・空き地については、人口増加や交流人口増加を目指し、有効活用できる仕組み等を検討していきます。

項目	10/18資料 ページ	ご意見	意見対応(案)
◆小絹コミュニティセンター			
25 都市計画マスタープラン全般への意見	118 119	・まちづくりの方向性としての総論としてはいいものできていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・素案が出来ましたら、現行計画から改定のポイントについてわかりやすく説明するよう努めます。 ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・交通やイベント交流等周辺市との広域連携を強化を図ります。 ・企業誘致とあわせた居住の場の確保の検討を行います。
		・つくば市との連携するプランを入れていったほうがいいと思う。つくばみらい市とつくば市が協力するべき。	
		・市全体で雇用も創出、住宅作る、医療も作るっていうのは難しい。近隣市と協力してあるものは活かしたほうがいいと思う。	
		・他の都市を真似しないでいい。	
		・前回のマスタープランの反省がない。 ・前回の市長ができなかったものを踏まえてない。 ・地域の現状をわかっていない。国の予算の補助。 ・民間ではこんなのできない。 ・9割できていないはずだ。反省点を踏まえて見直し計画を策定するべき。	
		・つくばみらい市は、コミュニティが点在している場所である。まとまりをもとうとしているとすぐ難しい。 ・市長が変わっている努力されている。子供の笑う姿が見える町にしたいと言っていた。	
		・以前の市の説明会で、コミュニティバスの件で、守谷市の方が来ていた。 ・足りないものは周辺市と協力する等したほうがよい。	
・前のプランからどこを変えたのかというのが示していただけるといい。 ・2015年に持続可能な社会というのが世界のテーマになっている。それを反映していかなければいけない。課題の明確化をしたほうがいい。			
小絹エリアでは、平成16年、平成22年に都市計画マスタープランでは、絹の台地区では住宅地区や守っていくため研究施設等。開発されて30年で変わってきている。準工業地域は倉庫ができている。つつなぎの道。準工業地域を制御できるように、この地域を守るために不十分だった。今はどうなんだ。課題を整理した上でいかなければいけない。今を捨てて先はない。			
26 公共交通網について	118	・バスがすごい少ない。バスをぐるぐる回せるようになると分断されたコミュニティがつながっていくと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスについては、路線の見直し、便数の見直しを行っており、改定後の路線については、現在公開されています。便数については、現在調整中であるため、決まり次第情報を公開いたします。 ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・交通やイベント交流等周辺市との広域連携を強化を図ります。
		・デマンドタクシーは制約があり、病院バスを作ろうとしている。	
		コミュニティの交通で、連携がとれていないと思う。 つくばみらいには大きい病院がない。いろんな病院にいけるようなバスとしてほしい。	
27 市と意見交換を行う場について	—	・福岡地区に住んでいるが意見がいう場所がなくて小絹地域で参加した。	<ul style="list-style-type: none"> ・新設された市民推進課を中心に、市と市民が一緒の目標に向かって協働で活動するための場や機会を今後作っていきます。
		・市に意見を発言する場がない。 ・地域のいい所を伝える機会がない。意見を吸い上げるような機会があるとよい。	
28 つくばみらい市の賑わい創出について	132	・みらい平の駅前のポテンシャルってどうなのかな。にぎわいの施設を誘導していくのか。 ・他の地区の人をどう呼び込むかが課題。土日がつくばみらい市の中で遊んでいる人がいない。	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) ・みらい平地区の昼間人口増加に資する機能を検討をしていきます。 ・小貝川の自然を活かした魅力づくりを図っていきます。
		・つくば市との連携するプランを入れていったほうがいいと思う。 ・つくばみらい市がベッドタウンでお昼遊びに行く場所がない。日中の人口もないといけなくて今後増やしていきたい。	
		・逆手にとった政策をする場所にすれば、癒しの場所にしていける。小貝川沿いでバーベキューができるようにするとか。お茶屋とか団子屋とか	
		・ソフト政策をもっと充実させるといい	
		・山田副市長と話したときに宿泊施設がないと言っていた。が、自分は宿泊施設がなくていいと思う。 きらくやまとかで星をみるイベントをやるとか。	
みらい平地区に住んでいるが、つくばみらいの中心がわからない。税収をあげるには、つくばみらいの中に大きい施設を誘致したほうがよい。			
29 公園整備について	128	お散歩するのに大きい公園がないなって。1時間くらい回れる公園がない。自然のある大きい公園があってもいい。みんなが来てもらえるような公園。そうすると人が来てくれるのでは。	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料対応(以下の内容・文言等を本文中に追記します。) 公園については、地域の需要に応じた公園再整備を検討をしていきます。